

令和7年度篠山つながり手帳運用調査結果まとめ (R8.2月調査)

()内は対象事業所数	回答率	活用人数	連携・情報共有	つながり手帳以外の連携方法	ACPの記載	ヘルスケアパスポートの周知度	お薬手帳裏面のケアマネ名刺の存在
病院・医院 (28)	60%	17人	良くできている 28% 概ねできている 29% できていない 29% かわらない 14%	面談 17% 電話 47% FAX 29% メール 6% SNS 0% 機会無 18%	知っている 18% 知らない 82%	内容も理解 47% 名称のみ 24% 知らない 29%	
歯科医院 (14)	42%	2人	良くできている 0% 概ねできている 33% できていない 33% かわらない 17% 無回答 1%	面談 0% 電話 67% FAX 0% メール 0% 機会無 16% 無回答 17%	知っている 33% 知らない 67%	内容も理解 16% 名称のみ 17% 知らない 67%	
薬局 (17)	52%	13人	良くできている 22% 概ねできている 22% できていない 45% かわらない 0% 無回答 19%	面談 11% 電話 67% FAX 11% メール 0% 機会無 0% 無回答 11%	知っている 33% 知らない 67%	内容も理解 78% 名称のみ 0% 知らない 11% 無回答 11%	見たことある 100% 見たことない 0%

()内は対象事業所数	回答率	活用人数	ヘルスケアパスポートの周知度	ACPの説明
訪問系事業所 (14)	78%	49人	内容も理解 64% 名称のみ 27% 知らない 9%	
通所系事業所 (20)	90%	112人	内容も理解 61% 名称のみ 28% 知らない 11%	
短期入所施設系事業所 (4)	100%	5人	内容も理解 0% 名称のみ 50% 知らない 50%	
介護支援専門員 (58人)	100%	120人 利用者の内 7.5%	内容も理解 76% 名称のみ 22% 知らない 2%	できた・できそう 90% できない 10%

令和5年度篠山つながり手帳運用調査結果まとめ (R5.11月調査)

	回答率	活用人数	連携・情報共有	つながり手帳以外の連携方法	ACPの記載	ヘルスケアパスポートの周知度	お薬手帳裏面のケアマネ名刺の存在
病院・医院 (28)	58%	28人	良くできている 0% 概ねできている 33% できていない 27% 無回答 40%	面談 34% 電話 33% FAX 20% メール 3% SNS 10%	知っている 20% 知らない 80%	内容も理解 60% 名称のみ 20% 知らない 20%	
歯科医院 (14)	53%	1人	良くできている 0% 概ねできている 0% できていない 50% 無回答 50%	面談 0% 電話 62% FAX 13% メール 0% 機会無 25%	知っている 13% 知らない 87%	内容も理解 38% 名称のみ 25% 知らない 37%	
薬局 (17)	69%	10人	良くできている 9% 概ねできている 36% できていない 36% 無回答 19%	面談 6% 電話 59% FAX 29% メール 6% 機会無 0%	知っている 19% 知らない 81%	内容も理解 63% 名称のみ 18% 知らない 19%	見たことある 64% 見たことない 36%

	回答率	活用人数	ヘルスケアパスポートの周知度	ACPの説明
訪問系事業所 (14)	59%	74人	内容も理解 60% 名称のみ 20% 知らない 20%	
通所系事業所 (20)	84%	98人	内容も理解 44% 名称のみ 31% 知らない 25%	
短期入所施設系事業所 (4)	67%	13人	内容も理解 25% 名称のみ 50% 知らない 25%	
介護支援専門員 (60人)	100%	184人	内容も理解 67% 名称のみ 29% 知らない 4%	できた・できそう 81% できない 19%

上手く活用できている事例

医師	独居で知的障害のある患者の情報伝達に有効であった。
	病院・診療所・訪問看護との連携ができ、事象が発生した際に対処が早くできた。早期に受診診療に結びついた。
	自宅での血圧などのバイタルサイン、体重、排便状況などがわかる。家族が把握されて無いような訪問看護で必要な物品(浣腸液など)の使用状況がわかる。
薬剤師	入院前に情報があると普段の状況やサービスの利用状況がわかりやすい。1日の生活リズムがわかると服薬支援方法も検討しやすくなる。
通所系	デイサービスと訪問看護とのやりとりで使用している。デイサービスで呼吸苦なく安定していることが訪問看護に伝わり、訪問看護より提案があり、デイサービスの利用回数が増えた。
	2事業所以上を利用されている方は情報共有が出来ている。
	訪問看護より処置の連絡があり、同様の処置ができ、経過の連携もとれた。訪問看護より、自宅で内服ができない方の内服方法について連携が取れた。
	訪問看護との情報のやりとりに役立つ。
	訪問看護や家族との連携ができる。
	普段の体調などがよくわかり、デイサービス利用時に参考になっている。またデイサービスでの様子を書くと訪問看護等がしっかり見てくれ、対応してくれていることがあり助かっている。
	他事業所での過ごし方、各注意点を共有できる。体調・血圧を把握しやすい。
	訪問看護・ヘルパー・ケアマネのそれぞれが毎日状況を記入し、情報共有している。
	本人の状態が支援者に途切れず連絡でき、一貫した在宅生活支援やケアが提供できる。
	利用者の受診時に持参することで普段のバイタルを担当医に見せ、参考にしてもらうことができる。
複数の事業所を利用している方に利用時に持参してもらい、各事業所の様子や処置等を共有できる。	
本人を通じては伝わりにくいことや連絡事項を家族とやり取りしている。	
訪問系	デイサービスでの様子や身体面の気になるところを共有できる。
	体重管理の必要な利用者で、通所サービスで裸での測定値を把握できる。処置の内容を継続ができ、情報伝達できる。
	利用者が受診時に持参される場合、医師も目を通して何かコメントを記入してもらっている。
	この1年ではデイサービスの看護師とのやり取りが多く、特に呼吸状態や処置・水分バランスの評価などを共有することができ、症状悪化につながらず、状態安定して在宅生活を送ることができた。また、病院受診にも利用でき、医師からのコメントの記入をもらっている。
	家族と訪問看護と訪問介護との連携がとれ、本人の体調や家族の希望などの連絡がわかる。
	病院・薬局・訪問看護・訪問リハ・ケアマネなど、利用者に関わる全ての事業所と本人・家族間で活用が出来ており、情報が統一できている。
	血圧、排便、食事摂取の共有ができている。
	透析室での利用者の様子わかる。体調・バイタルの確認ができる。
	家族の対応がわかる。
	訪問看護との連携で共有できる。デイサービス・訪問看護・ヘルパー間での情報共有ができる。
セラピスト・家族・往診の医師・小規模多機能の職員が、バイタルや身体状況について記入しているケースがあり、状況がわかる。	
通院後の情報共有ができる。	
薬の変更についてもわかる。	
短期入所	傷がよくできる利用者は、部位や処置方法が共有できる。記入内容が「排便についての記録」とあらかじめフォーカスをあてる内容があると記入しやすい。
	日頃のデイサービスでの様子や家族の様子がよくわかって、利用中の対応にも参考になっている。

ケ ア マ ネ ジ ャ ー	複数のサービス事業所を利用している方で、家族、事業所、ケアマネと上手く連携出来ている。
	独居で認知症があり、家族は遠方で月に2~3回帰省されている利用者の場合、家族と事業所との情報共有に役立っている。
	下痢気味で下剤調整等が必要との連絡が訪問看護から訪問介護やデイサービス、ケアマネに発信され、上手く対応できた。
	デイサービス利用時のバイタルを医師に伝える事ができている。
	デイサービス・訪問看護・訪問介護と多職種のサービスを利用している利用者の場合、情報交換が図れており、病院受診の際での情報共有も行いやすい。
	透析室とサービス事業所で体調について情報共有できている。
	訪問看護と、訪問介護、福祉用具を利用している方で、毎回、訪問時の状況を書き込み、お互いに情報共有出来ている。
	複数サービスを利用されている利用者の場合、情報共有として活用できている。
	訪問看護とデイサービスとの間で情報共有ができている。
	デイサービスの看護師と訪問看護と情報共有ができている。
	服薬状況や足浴実施状況、バイタル測定など、関係機関と情報共有ができている。
	食事の方法などの共有
	デイケアのセラピストから訓練中の様子やSP02等の変化を主治医に伝えることができ、主治医から病状を伝えていただいた。家族を介して伝えることが難しい時に役立つ。
	利用者の状態の変化を家族、サービス事業者、主治医と共有することができ、区分変更申請にスムーズに繋げることができた。
	訪問看護と情報共有し利用者の細かな体調の変化を確認することができた。
	薬剤師とやり取りできる。
	複数の事業所を使っている利用者や訪問系サービスと通所系サービスを併用している利用者、自分から必要なことを伝えることが難しい人に有効なツール。
	訪問時につながり手帳の確認を忘れる事があるが、各事業所や家族間ではきちんと連絡がとれてる様で、後で知ることも多い。
	緊急性が必要な内容は、電話での連絡が必要。
	バイタルの共有、自宅での様子など関係機関と共有ができる。
	訪問介護・訪問看護・訪問入浴・医師・歯科医師・訪問マッサージのみんなが記入してくれるので活用している。
	訪問看護・デイサービスとの間で、医療的ケア内容の連携ができた。
	訪問看護からの処置の方法を共有できた。
	訪問看護とデイサービス間での連携が図れた。受診の際に持参することで主治医にも在宅での様子を知ってもらうことができた。
	医療処置の細かなことで訪問看護とデイサービスやショートステイとの連携がスムーズに行うことができた。
	訪問看護とデイサービス間での処置方法の統一がスムーズにできた。
活用が定着している利用者には、つながり手帳を通じて情報のやりとりができている。	
訪問リハ、訪問看護を利用しながらデイサービスを利用をしている方で、ちょっとした変化を連携するのに役立っている。また受診時に医師に見せて参考にしてもらっている。(血圧の変化、転倒などの情報)	
訪問看護師とデイケアの看護師との情報共有ができた。	
訪問看護でこまめな記録あり、ケアマネの頻繁ではない訪問時にも経過がわかった。デイサービスや医師からの記入も時々あり、急がない共有ができていた	
腸閉塞を繰り返す利用者で、家族がヘルパーにお願いしたい調理、訪問看護が体調面を細かく報告され、在宅中は腸閉塞にならず生活出来た。	
鬱があり体調に波がある利用者で、訪問看護から現在の様子を伝えてもらい、少しの変化を共有できるようにしているが、本人も読むので配慮しながら記載している。	

家族・訪問リハ・訪問看護で共有し、受診時に主治医に見せることができている。

訪問看護の利用が開始され、医師、ヘルパーと情報が共有できるようになった。

ケアマネと訪問看護、医師とのつながりができ、体調良く生活できている。

薬が少ない時に記入すると準備できている。訪問リハの内容や様子がわかるのでよい。

本人が上手く伝えられないことを記載することで、伝えたいことと知りたいことの情報交換がしやすい。

上手く活用できていない事例

通所系	本人・家族から、受診時に医師に確認していただきたいことを事業所の連絡帳とつながり手帳に書いていることもあるが、主治医等に渡してもらえず、見て頂くができていない。
	受診の際などの医療的な内容が手帳を通して入って来ない。
	事業所の連絡帳と重複しているため、面倒になる。
	受診時に医師に伝わらないため、別の対策をしている。
	デイサービスに持参される利用者は数名いるが、他のデイサービスを利用されておらず、デイサービスの連絡帳もあるため活用に至っていない。
	自宅での様子が書かれていない場合は直接家族に連絡して再確認する場合があるので二度手間になる。
	つながり手帳を持ってはおられるが、通院やデイサービス利用時に持参するのを忘れていたため活用に至らない。
	利用者によってはデイサービスの連絡帳で代用されており、その方がわかりやすい場合もある。
	つながり手帳を必要と思う利用者が、別のノートに記入し持参されているケースがある。
	デイサービスに持参できない利用者や本人が読んで、内容を消したり破ったりする利用者がある。
	訪問看護を利用しているが記載がなく、状態が悪化していたのに情報が伝わらず、変化がわからなかった。
	病院受診時に持参がなく、主治医に伝わっていなかった。
家族が見ておらず、必要とされていないためことがある。デイサービスの連絡帳で対応できている。デイにとっては二重手間になる。	
つながり手帳の持参がほぼない。	
訪問系	当事業所からの記載しか無い利用者がある。
	記載に時間がかかる。
	個人の日記のような活用になっている。
	デイサービスに持参するカバンの中に入れておいても利用者がカバンから出して、どこかにしまうこともある。
	家族が見ておられず連携がとれない。
	訪問介護と家族間の連絡のみになっており、デイサービスとは上手く活用出来ていない。
	タイムラグがあるため、直接連絡することの方が多く、あまり活用できていない。
	記入がないのは変化がない事なのかかわからない。記入が同じ事業所ばかりだと不安になる。
手帳がどこにあるのか分からないので記入できないことがある。	
短期入所	自宅でのSP02値が低い利用者で、利用時に毎日SP02測定をするようにと訪問看護により指示があり続けているが、漫然と何か月測定数値も正常であるが、今後どうなれば報告となるのか、医師の姿や指示が見えてこない。
	他の事業所に伝えるには家族の協力も必要だが、家族が多忙で、結局伝わらないことも多く、電話で済ませる必要がある。
	施設の過ごし方を記入しても家での様子が記載されていないので一方通行になり、退所記録と大差がない。
	始めは上手く活用されていたが、家族が少しずつ記入しなくなってしまった。
	つながり手帳を渡しても最初は持参されるが、いつの間にか持参しなくなっている。
	家族や利用者が病院に提出しても見てもらえなかったため、持って行くのをやめられた。
	新規の方に渡しているが、使う習慣にならない。
	紙ベースなので、訪問事業所は訪問しないと内容が読めない。リアルタイムではないので、結局電話連絡になる。
	記入されていない場合は、役立たない。

ケ
ア
マ
ネ
ジ
ャ
ー

サービス利用時や受診の時に、利用者や家族が持参することを忘れてしまうので役立たない。
状態が安定している利用者に対しては特に記載されることも無く、そのうちに配布したことも忘れてしまっている。
本人が関係機関に持参しなかったり、特変がなく記入する事項がない場合は、上手く活用できなかった。
利用者が手帳の携帯ができなかったり、無くしてしまったりした。
配布したが、デイサービスの連絡帳を見る機会の方が多く、使わなくなった。しかし、デイサービスの連絡帳が役割を果たしているため共有できている。
物を無くしてしまう利用者や1つの事業所しか使っていない利用者には役立たない。
電話でのやりとりをしているため、記入がない時もある。
MCSの方がタイムリーな連絡がとれるため活用していない。
どうしてもタイムラグができてしまう。
利用を促し渡すも、本人や家族が各医療機関や介護事業所に持参されていない、電話連絡にて終了している場合がある。
手渡しているだけで運用に至っていない。
ヘルパーや、デイサービスのみ利用している場合は渡すだけになっており、ケアマネが確認していないこともある。
デイサービスの連絡帳と両方書くことが負担な様子。複数の事業所利用でない利用者には必要性を感じていない。
サービス事業所ごとのノートに記載され、家族もつながり手帳を見なくなり中断した。
主に主治医連絡票を活用しているので、つながり手帳は活用していない。
以前、記載事項が多く、大学ノートで代替したケースがあった。
受診に同席したり、主治医連絡票で確認したり、こまめに事業所に連絡を入れて情報共有ができていたので、特に利用する機会がなかった。

ヘルスケアパスポートについての期待・質問

医師	マイナンバーカードと連携するのか。篠山つながり手帳もほとんど見ない。上手く連携できればよいが…
	マイナンバーカードを持っていない、使ったことがない独居高齢者が多いのに、ヘルスケアパスポートは可能か疑問。デジタル化を急ぐのはあまりよくない。
	施設やグループホームにも利用でき、患者や利用者の状況が見てわかるようになれば良いと思う。
	便利になることに期待する。
	紙カルテであるため、導入に苦労を要する。
	医師・歯科・看護・介護・薬剤分野で共通したプラットフォームの構築が必要。
	沢山の施設で使ってもらえることを期待する。
	ヘルスケアパスポートで医療・介護の分野で個人の健康記録を知りえることができ、その結果、各分野でどのように具体的・計画的に連携することが大切。
歯科医師	市民の利用頻度向上のため、使用法のサポートや周知に取り組んで欲しい。マイナンバーカードアプリとの連携ができればよいと思うが、難しいのか。
薬剤師	薬の内容の閲覧ができるようになるとよい。
	薬剤情報へのアクセスがスムーズに行えることを期待する。
	薬剤・検査・看護介護の情報がワンストップで見られるとよい。
	病院・クリニックで施行する注射はお薬手帳にのらないので、共有できたら理想的。
訪問系	高齢者の理解、使用が可能か。関係各所が一斉に使い始めないと、データベース、紙ベースと混乱する。
	つながり手帳では、手書きのために読みにくく時間がかかる。又記入にも時間がかかり詳しく記入しにくい。この辺りを電子化で解決できることに期待する。
	どの職員でも使いこなせるように、できるだけ簡単に使えるのがよい。
通所系	地域に広く伝わり情報共有できればと思います。
	情報共有の円滑化を期待。つながり手帳は本人家族がノート閲覧と各所に持参というアクション（手間）があった。そのためこちらの促しを行っても、本人家族の意識により進まないケースもあったが今回同意さえ得られれば、家族のアクションは必要なくなるためサービス側の努力だけで済むため進めていけると期待している。
	情報共有の効率化により、サービスの質の向上、スマホ世代の方が利用者が増えたら普及していくかもしれない。
	導入されたら、施設やケアマネ、家族・本人、医療機関が一目瞭然と繋がるし、情報の共有が迅速でコスト的にもメリットがあるのは効果的であると思う。
	ヘルスケアパスポートについて詳しく教えて欲しい。
	利用者の受診や服薬情報をリアルタイムで知ることができると助かる。
	医師への質問が直接できることに期待する。
	多職種間で専門的なことが共有できることに期待する。
	高齢者の方が使いやすく、登録しやすくできるのか。
	スマホで簡単に操作できるようにして欲しい。
高齢者の理解、使用が可能か。	
関係各所が一斉に使い始めないと、データベース、紙ベースと混乱する	
短期入所	有効に活用できればよい
	上手くつながって有効に利用できたらよい。
	ケアマネが使い方を理解して説明するには時間がかかるので、使いやすく良いものを早く届けて欲しい。
	利用者の病気、服薬中の薬が分かると聞き、上手く活用できれば助かる。

電子化について苦手なので、活用出来るか不安。
情報をどこまでの人が見れるのか不安。
スマホやパソコンを持っていない利用者は、つながり手帳が活用できるのか。
医師とのやりとりの際、患者に実際に使って欲しい。
事業所が書き込んだ時に通知が来るように改正して欲しい。ケアマネ別に一覧検索できるようにして欲しい。その他、使い勝手が良くなるようにして欲しい。
電子化されるのは良いと思うが、書き込みや更新の確認の作業を常にしないといけないのかと思うと大変ではないかと思う。
電子化による事務の効率化が図れるようになればよい。
使い易くて、皆が重要性和便利なことを実感出来るものにして欲しい。僻地の人もタイムリーに医師の助言が受けられると更に良いと思う。
リアルタイムに情報共有できるようになれば有難い反面、直ぐに何時でも見てもらえるはずと思われると思うと、かえって業務負担になり得ると思う。その辺りの運用ルールはどのような考えか聞きたい。
医療機関と事業所でやり取りできるのは助かるが、本人やご家族が置き去りにならない様にしたい。
わかりやすく情報共有ができればと思う。
メディカルケアステーションとどう違うのか知りたい。
本人と家族にとって使いやすい操作しやすい画面や表示になるとよい。
使いながらバージョンアップしていく必要があると思うので最初は完璧でなくても良いと思う。早急に利用できる方が重要かと思う。
携帯を利用となると個人の物なので使用することを考える。事業所の問題だが、個人的には少々躊躇するところである。
医師の協力がないと進まないということがネックだ。
情報共有が早くできるようになることを期待する。
みんなが簡単に活用できたらよいと思う。
上手く利用できるのか不安。情報を提供することを拒否されることもあるかもしれない。
タイムリーな情報や変化の共有ができることに期待する。
他職種とタイムリーに情報共有したい。忙しい職種(医師・訪問看護・リハ職)と連絡することの難しさがあったが、ヘルスケアパスポートを使用すれば、気軽に情報共有ができるのではないかと期待する。
マイナンバーカードがいろいろなことに使用されるようになると。ヘルスケアパスポートに影響するのか。
パソコンやスマホ操作が苦手な人でも使えるようにして欲しい。
病院や事業所での情報共有がスムーズになると思う。遠方の家族が本人の健康状態を把握するのに役立つと思う。
薬情報・予防接種等、わかりづらかったり、忘れやすい医療情報が管理できることは画期的。利用者に説明できるように勉強する必要がある。
現在、1名ヘルスケアパスポートでやり取りしているが、事業所と医師間のみでのやり取りでとどまっている。今後は上手く活用できるようになれば便利だと思う。
医療情報の収集が効率化できることに期待する。